関西広域地方計画（基本的な考え方）《概要》
（R5.7.5公表）

資料1
近畿圏広域地方計画推進室

関西の特徴・強み

- 歴史が深く息づき、個性的で多様な地域からなる関西
- 産業等の諸機能の集積が進んだ関西
- 最先端の技術力で我が国を牽引する関西

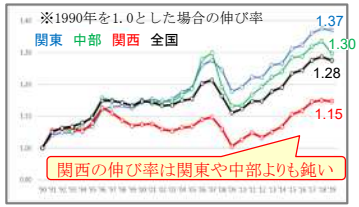
【地域別の域内総生産（2019年）】

資料：内閣府「県民経済計算年報」

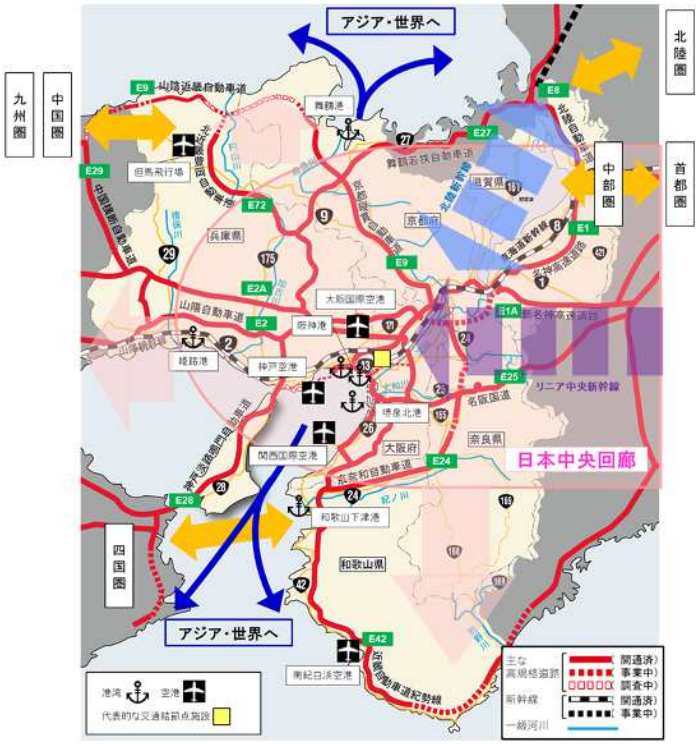
関西を取り巻く現況と課題

①本格的な人口減少社会の到来と急激な高齢化の進行
②関西の相対的地位の低下
③ポテンシャルを活かし切れていない京阪神大都市圏
④地方都市の活力低下と農山漁村の集落機能の低下
⑤関西を脅かす自然災害リスク

【域内総生産（GRP）の伸び率】



資料：内閣府「県民経済計算年報」
注）1990～1995年：1993SNA、平成7年基準／1996～2000年：1993SNA、平成12年基準／2001～2005年：1993SNA、平成17年基準／2006～2010年：2008SNA、平成23年基準／ 2011～2019年：2008SNA、平成27年基準



関西の将来像（目指す姿）とその目標・戦略

第1節 活力ある圏域づくり

日本中央回廊の西の拠点として我が国の成長を牽引する関西
～挑戦し、成長する関西～

- 三大都市圏を結ぶ日本中央回廊の西の拠点として、アジアを中心に世界からヒト・モノ・カネ・情報を呼び込むゲートウェイとなるシームレスな重層構造の圏域
- 医療・ライフサイエンス等の分野やグローバルニッチ企業等の特色あるものづくりの伝統を活かし、さらに大阪・関西万博のレガシーの承継・発展により、我が国の成長エンジンとなる圏域
- 大学、研究機関、知的交流拠点等の集積・連携を活かし、創造性豊かで多様な高度人材が集まり、新たなことに挑戦し、イノベーションを発信し続ける圏域
- 日本海側・太平洋側の二面活用に加え、瀬戸内海を介した西日本の圏域との連携の利点を活かし、国土の均衡ある発展や地域経済の活性化を実現する圏域

目標
1. 他圏域や地方経済へ拡大・波及させるための国内外ネットワーク強化　2. 成長エンジンとなる新たな産業の創出・強化　3. イノベーションの創出を支える人材を確保・育成し、挑戦する環境整備の推進　4. 地域経済の活性化・稼ぐ力の向上

快適で豊かに暮らせる地域生活圏の形成を目指す関西
～どこでも豊かに暮らせる関西～

- デジタルの徹底活用と広域連携、官民連携の推進により、関西のどこに住んでも教育、医療、福祉、文化、スポーツ等の豊かな暮らしを実現できる「地域生活圏」を形成する圏域
- 都市と豊かな自然や安らぎを提供する里山・里海が近接している関西の特徴を活かし、二地域居住など新たなライフスタイルを実現しやすい圏域
- 生活や働き方の視点を変える「ワークinライフ」を全国に先駆けて実現する圏域
- 多様性を活かして関係人口を多数生み出し、都市部と地方部が相互に連携して発展する圏域
- 就学、労働、出産、子育て、趣味等、ライフサイクルの様々なシーンにおける魅力があり暮らしやすい圏域

目標
1. 快適で暮らしやすい都市機能・環境の再構築　2. 持続可能なまちづくり・地域づくりを支える環境整備の推進　3. 圏域管理の高質化　4. 少子高齢化に対応した社会システムの構築　5. 関係人口の拡大　6. 誰もが活躍できる社会の実現

第2節 安全・安心な圏域づくり

巨大災害リスクに対して持続可能な国土・社会を目指す関西
～災害に屈しない強靭な関西～

- 南海トラフ地震・津波等巨大災害への備えや、気候変動に伴い頻発化・激甚化する風水害・高潮・雪害・土砂災害等に対応する総合的な防災力の高い圏域
- 平時から防災・減災に対する高い意識を官民が共有し、災害への備えや被災経験の継承等を実践する圏域
- 産業構造の円滑な転換を推進し、成長産業が分散立地することで、巨大災害リスクの軽減を目指す圏域
- 首都圏の有する諸機能のバックアップを担い得る圏域

目標
1. 社会資本の老朽化対策等による強靭な国土の構築
2. 総合的な防災・減災対策の推進　3. 地域防災力の強化
4. 災害対応力の高度化
5. 首都圏とのデュアルオペレーション体制の構築の促進

人と自然が共生する持続可能な関西
～カーボンニュートラル・SDGsを実現する関西～

- 持続可能な産業への構造転換や、再エネの最大限の導入、市町村におけるゼロカーボン表明、市民生活における温室効果ガス排出抑制など、2050年カーボンニュートラルの実現に向けてあらゆる主体が総力を挙げて取り組む圏域
- 豊かな自然環境の保全・再生、景観を含む都市環境の改善・保全などの環境対策に圏域全体で取り組む環境先進圏域
- 健全な水循環の維持・回復、水文化の継承、多様な生態系の保全・再生に取り組み、また地域特性等に応じて最適な規模の資源循環を形成し、循環型社会を実現する圏域
- ＳＤＧｓの達成に向けて、行政、企業、市民などあらゆる主体が積極的に取り組む圏域

目標
1. カーボンニュートラルの実現に向けた地域づくり
2. 脱炭素の基盤となる新産業・新技術の強化・供給体制の整備
3. 自然環境との共生・保全・改善と生物多様性の確保
4. グリーンインフラの社会実装
5. 自然や緑を活かした都市環境の改善

第3節 個性豊かな圏域づくり

日本の歴史・伝統・文化が集積し、世界を魅了し続ける関西
～多様な文化・自然の魅力がいっぱい関西～

- 長い歴史とそれに培われた伝統文化を有し、多くの個性的な地域と豊かな自然など、関西特有の歴史・伝統・文化や豊富な地域資源を次世代に継承する圏域
- 世界に誇る歴史・文化資産をはじめ、暮らしに息づく伝統・生活文化、四季折々の自然や身近な水辺空間、多彩な食文化などの地域資源を活かした「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりと、文化庁とも連携した日本文化の関西からの創造・発信により、世界の人々を惹きつけてやまない圏域
- 世界からの来訪者を含むすべての人々が、快適かつ便利に関西各地を移動・滞在し、その地域の魅力を存分に味わうことができる圏域

目標
1. 歴史・伝統・文化の継承・利活用や地域資源の活用　2. 持続可能な観光地域づくり　3. 観光DXの推進　4. 広域観光の推進
5. 観光立国推進に向けたインバウンドの拡大